

「オンライン版 法務省旧蔵 東京裁判・戦争裁判関係資料」は、法務省から国立公文書館に移管された「戦争犯罪裁判関係資料」司法法制調査部研究・調査資料（平 11 法務 06311～07375）のうち、法務省作成の通史等編纂物及び関係資料、聴取書、収集資料 360 簿冊以上を収録している（2022 年 6 月刊行時に公開済みのもの）。オンライン版の刊行にあたっては、検索上の利便性を考慮し、簿冊に収録された個別資料についても適宜目録を作成している。

本資料の来歴等については「解題」を参照されたい。

解題：[https://j-dac.jp/tokyotrial/tokyotrial\\_kaidai.pdf](https://j-dac.jp/tokyotrial/tokyotrial_kaidai.pdf)

## 目録の記載

「オンライン版 法務省旧蔵 東京裁判・戦争裁判関係資料」では、以下の様式規則に沿って目録を作成した。目録は、原則として元の簿冊の順番に並べた。

### （１）資料番号

各資料の資料番号は、国立公文書館での請求番号 下 8 桁を採用した。データベースの利便性を考慮してデータを分割した場合には、「-（ハイフン）」以下に枝番を付した。

### （２）資料名

原則として、標題の付されている資料名を示した。標題のないものについては、内容を判断して適宜表記し、〔 〕でくくった。

### （３）作成者

原則として資料に記されている作成者、作成部局を示した。

### （４）宛先

書簡等で受信者が明記されているものについて宛先として示した。

### （５）分類

元の簿冊の原秩序を尊重しつつ、分類を設定した。

### （６）指定

文書作成の時点で指定された「極秘」「秘」などの指定区分である。

### （７）作成年月日

原則として資料に記載されているものを示した。

### （８）備考

以上に当てはまらない情報を記入する。

・画像について

原資料そのものの劣化により、判読しがたい部分があることを了承されたい。また、一部、墨塗りされている箇所があるが、刊行時点での国立公文書館の公開状況に拠るものである。